

いつもお世話になります。石原裕次郎、萬屋錦之介、渡辺謙、武田鉄矢・・・、数多くの俳優が坂本龍馬を演じてきました。今年の大河ドラマは、福山雅治さん演じる「イケメン龍馬」が話題です。いつの時代にも「勇敢なる志士」はいます。今の日本を夜明けに導くニューヒーローが登場する日も近いかも知れませんね。

365日が楽しくてたまらない!「商売のヒント」

今月の商売のヒント：【その「ひと言」がピンチを救う】

商談成立に結びついたひと言。顧客の信頼を得たひと言。前回の失敗を挽回できたひと言・・・。とっさのひと言がピンチをチャンスに変えることがあります。商売上手な人を観察していると、効果的な「ひと言」をタイミング良く相手に投げかけているようです。そんな「ひと言」のバリエーションをいくつか用意しておく、商売のシーンだけでなく人間関係全般にも役立つものです。

たとえば「あの人がほめていましたよ」。あからさまなお世辞を嫌う人はいても、間接的に聞かされる自分の良い評判に悪い気がする人はいません。第三者を引き合いに出してほめると、直接ほめるより相手の心に響くことが多く、しかも相手の自尊心が満たされます。このひと言のポイントは誰を引き合いに出すか。顧客が、「あの人に認められたら嬉しい」と思うような人であれば、気を良くした顧客との商談は和やかに、かつスムーズに進むことでしょう。とはいえ作り話は御法度なので、「あの方にも好評なんです」というような間接的に自社の商品やサービスを持ち上げる変化球も覚えておきたいものです。

一見ネガティブな表現であっても、使い方次第ではかえって顧客との関係が良くなるひと言が「最悪の場合」。「最悪の場合は〇〇〇ですが、□□□のような対応が可能です」と提案すれば、リスク回避を兼ねた対策案の提言になると同時に、「本音で商売できる相手」という信頼を得られることもあります。ただし、対策案のない「最悪の場合」は、あなたにとってまさに「最悪の場合」になることもあるのでご注意ください。

最後に、大事な場面で「大丈夫だと思います」では相手の背中には絶対に押せません。商談が佳境に入ったら、「ぜひ私にお任せください!」の力強いひと言で顧客の不安を取り除き、自信を持って商談成立へとコマを進めましょう。結果、「やっぱりこの会社に任せて良かった」となれば、仕事の成果と自分の決断が正しかったことへの満足感で、相手はあなたを二重に評価するでしょう。つまりは、胸を張って「ぜひ私にお任せください!」と言える堅実な商売こそがピンチを救うということですね。



今さら聞けない 経済用語

【今月の教えてキーワード：MVNO（エムブイエヌオー）】

「モバイル・バーチャル・ネットワーク・オペレーター」の略称で、携帯電話やPHSの通信事業者からネットワーク設備を借り受けて、自分のブランドでサービスを提供する移動体通信事業者のこと。携帯電話事業に参入するには多額の資金が必要となるが、MVNOならば設備を借りる形でサービスがスタートできるため、事業に参入しやすくなる。進展すれば、幅広い業種の企業による独自の携帯電話サービスの提供が予測される。

痛快! えだまめ君

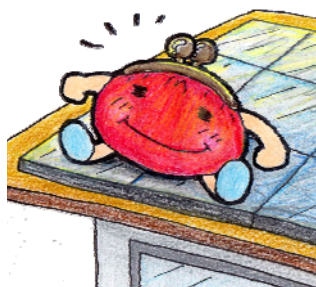
画: はりひろみ



知っとこ! 「税務のマメ知識」

【「地球」や「人」に優しいとお財布が暖かに!】

自己資金で既存の住宅に特定の改修工事をした場合、所得税が減税されるという特例措置が昨年の4月に創設されました。これは平成21年4月1日から平成22年12月31日までの間に、ご自身が居住される住宅を「省エネ改修工事」や「バリアフリー改修工事」した場合に適用される制度です。また「省エネ改修工事」と併せて太陽光発電装置を設置した場合にも減税の対象となりますが、それぞれの改修工事には、いくつかの条件がありますので事前に確認が必要です。さて、気になるのは減税額ですね。計算方法は「実際に改修工事にかかった費用」か、国が工事の種類ごとに定めた金額で計算した「標準的な工事費用」の「どちらか少ない金額」の10%となります。これによって計算された金額が所得税から控除されることになりますが、最大控除可能金額は20万円。太陽光発電装置設置の場合は30万円と上限が決められています。例えば、本来は25万円の所得税を納める人が省エネ改修工事をしたとします。実際の改修工事にかかった費用が150万円。国が定める標準的な工事



費用が200万円だとすると、150万円のほうが少ない金額となるので、その10%の15万円が控除されます。よって、25万円から15万円を控除した10万円が納める所得税となります。地球や人に優しくするとお財布も暖かになる嬉しい制度ですね。

今月のあなたの運勢

鑑定: 妙慎

A型

運勢は安定期に入りました。これまで手がつけられなかった仕事を整理し、順に片づけていくと吉となります。

B型

新規プランを実行するのに良い時。先延ばしにせず、このタイミングで行動を起こせば、結果が残せそうです!

O型

今月は多忙な割に結果が今ひとつの感じです。焦らず、地道な努力を続けると来月以降に期待が持てますよ。

AB型

運勢は月の中旬から次第に回復し始めます。前半は事務所の整理整頓をし、効率よく仕事ができる環境作りを!

平成22年度税制改正大綱の注目点のひとつに

「特殊支配同族会社の役員給与の損金不算入制度(＝オーナー社長の給与についての損金算入を制限)」の廃止があります。この制度の対象となっていた会社にとっては朗報ですが、税制大綱によると(個人と会社の)『二重控除の問題を解消するための抜本的措置を平成23年度税制改正で講じます』との記述があり、何らかのかたちで再び規制される可能性も・・・

斉藤会計事務所

斉藤会計.JP

〒160-0022

東京都新宿区新宿 1-23-8 タチハラビル 501

TEL: 03-5368-8761

FAX: 03-5368-8763

ホームページ: <http://www.saito-kaikei.co.jp>

2月の税務・労務

- 固定資産税第4期分の納付
- 12月決算法人の確定申告
- 6月決算法人の中間申告
- 個人所得税の確定申告（2月16日～）



3月の税務・労務

- 個人所得税の確定申告（～3月15日）
- 1月決算法人の確定申告
- 7月決算法人の中間申告

税務・経理のトピックス

通常国会が開会しましたが、相変わらず『政治家と金』に絡む問題が大きく取りざたされており、はたして、緊急を要する『経済対策』等が十分に審議され、早急に次の手を打てるのかどうか心配になります。

さて、H22年度の税制改正大綱が発表されましたので、顧問先の皆様に関係のある改正を中心にご説明したいと思います。（注：今通常国会において下記の法案が可決される見通しです）

【法人税】

- ① 特殊支払同族会社の業務主宰役員給与の損金不算入制度の廃止。（H22年4月以降開始事業年度より適用）
- ② 『グループ税制』の導入・・・100%資本関係のあるグループ法人間の取引等に係る新たな制度。
例えば、資本金等が5億円以上の法人の100%子会社は中小企業特例措置の適用が出来なくなる。
（項目により、H22年4月以降開始、又はH22年10月以降開始事業年度より適用）
- ③ 中小企業者等の少額減価償却資産の適用期限を2年延長（所得税についても同様とする）。

【個人所得税】

- ① 扶養控除・特定扶養控除等・・・こども手当の創設に伴いこれを見直す。（H23年分以後の所得税について適用）

扶養家族の年齢	現行の扶養控除額	改正後の扶養控除額
16歳未満	38万円	0円（廃止）
16歳以上19歳未満	63万円	38万円
19歳以上23歳未満	63万円	63万円（変更なし）
23歳以上	38万円	38万円（変更なし）

- ② 生命保険料控除の変更・・・各生命保険料控除の合計適用限度額を最高12万円までとする。（H24年分以後の所得税について適用）証券税制・・・H24年度から実施される、上場株式等に係る配当所得・譲渡所得の軽減税率が20%本則税率に戻るのに伴い、非課税口座内の少額上場株式等（取得価額年間100万円まで）について配当所得と譲渡所得を最長10年間にわたり非課税とする措置。

【相続・贈与税】

- ① 住宅資金贈与の拡充・・・昨年新設された住宅資金贈与の非課税特例の適用期限がH23年末までに延長され、非課税限度額も現行の500万円が、H22年中は1,500万円に、H23年中は1,000万円まで拡充される。
- ② 定期金評価の適正化・・・H21年8月号でお知らせした「一時払個人年金保険」（相続税対策に活用できる保険として紹介）について、現行の評価方法による評価額が、実際の受取金額の現在価値とかけ離れている等を理由に、一部見直しの方向になっています。

H22年3月末日までに契約したものについては現行の規定が適用されますが、以後H22年4月以降契約分については、より実状に近い、解約返戻金相当額などの内いづれか高い評価額により「相続税」「贈与税」を計算する事になります。

（斉藤会計J.P. 河上静夫）



アメリカ映画を楽しみながら交渉のヒントを探る「映画に見る交渉術」のコーナーによろこそ！

いまや国民的行事とも呼ぶべきバレンタインデー。そこで、今回のテーマは「グッとくる愛の言葉」。

ビートルズの歌詩にあるように、“I love you I love you I love you～（愛してるんだ！）”と熱い気持ちを表現するのもいいですが、熱にでも浮かされていなければ、なかなか言えません。どちらかといえば若年層向きの表現です。もうちょっと落ち着いた大人向きの言葉はないだろうか、と考えていたらびったりの映画を思い出しました。

その名も『恋愛小説家』（原題：As Good As It Gets）。まずはセリフからどうぞ。

“You make me want to be a better man.”

「君のおかげで、いい人間になりたくなった」（ユドール）

“That’s maybe the best compliment of my life.”

「たぶん私の人生で一番のほめ言葉よ」（キャロル）

・・・『恋愛小説家』 1998年日本公開

メルヴィン・ユドール（ジャック・ニコルソン）は恋愛小説が得意の有名作家。

しかし、この男、実際の生活では石けんまでも使い捨て、ドアを閉めたらきっかり5回施錠を確認するほど神経質で、人に会えば相手の心をえぐる毒舌を吐き、気に入らなければ他人の犬もダスト・シュートに放り込むなど、極めて自己中心的に毎日を過ごしています。そんなユドール氏が恋に落ちました。相手はマンハッタンでカフェに勤めるウェイトレス、キャロル・コネリー（ヘレン・ハント）。カフェに通いつめ、紆余曲折の末やっとキャロルとデートに出かけたユドール氏の口から出た言葉がこのセリフでした。



「君のおかげで、いい人間になりたくなった」～過不足ないストレートかつ自然な愛の言葉、さすが恋愛小説家と言いたいところですが、実はこのセリフ、失言の償いに「何かほめ言葉を言って」とキャロルに迫られて言ったものです。しかし、気取らないそのほめ言葉は、キャロルの存在をまるごと肯定していました。これこそまさに「グッとくる愛の言葉」です。

人はみな、心のどこかでありのままの自分を受け止めてほしいと思っており、自分の存在を認めてくれた人に好意を寄せないわけがないのです。こうしてユドール氏は思いがけずキャロルの心をつかんだのですが、再び大失言をしてしまい……。続きは、ぜひ映画でお楽しみください。

ここで英語の説明を少し。ユドール氏のセリフにある **make** は、「～を作る」という意味ではなく、使役動詞で「～させる」という意味です。また、**compliment** は「お世辞」と訳されることが多いのですが、「心にもないお世辞」ではなく、よい意味での「ほめ言葉」ですのでご注意ください。

さて、ユドール氏のセリフがキャロルの心を捉えた理由がもう一つあります。それは、ユドール氏が普段から素直に心情を吐露しない人物だということ。意外な人が意外なことを言うという記憶に残るものですね。